

仙北市主催事業紹介⑨

来年、秋田県で開催される国民文化祭の仙北市で行われる事業をシリーズで紹介しています。

国民文化祭とは、日本中で様々な文化活動に親しんでいる個人や団体が集まり、日ごろの成果や実力を発表し交流を深める「日本最大の文化祭」です。

昭和61年に東京都で開催されてから毎年、各県を巡ってきたこの国民文化祭が平成26年秋、秋田県で開催されます。



せんぼく「餅っこ三昧」～せんぼく“もちっこ&がっこ”バイキング～

仙北市ならではのもち文化を体験や実演により紹介し、さまざまな種類のもち料理をバイキングにより提供することで、地域もち文化を次の世代に継承すると共に全国へ広く発信します。



秋田県マスコット スギッチ

日時 平成26年10月26日(日) 10:00～15:00

会場 仙北市活性化施設「かたくり館」

事業内容 ・杵と臼を使った餅つき体験、おやき、笹もち等の実演体験を行います。
・おやき、大福、ゆべし、お雑煮等のもち料理をバイキングで提供します。
・正月や節句、季節の行事や祝い事のもち文化をパネル等で紹介します。

問合せ 第29回国民文化祭仙北市実行委員会事務局
(教育委員会国民文化祭推進室内) ☎ 43-3315

図書館情報局

田沢湖図書館 ☎ 43-1307

12休 2日(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月・祝)、24日(火・振替休館)、28日(土)～31日(火)(年末休館)

学習資料館 ☎ 43-3333

12休 2日(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月・祝)、24日(火・振替休館)、27日(金・月末整理休館)、28日(土)～31日(火)(年末休館)

イベント交流館(新潮社記念文学館) ☎ 43-3333

12休 2日(月)、9日(月)、16日(月)、28日(土)～31日(火・年末)

田沢湖図書館からお知らせ

【テーマ展示】

「クリスマス絵本」

いくつになっても心躍るクリスマスあったかいストーブの前で、今年も夢を見ませんか？



【お知らせ】

「おはなし玉手箱」

クリスマスやお正月、雪にまつわる楽しいお話そして歌…。

●日時／12月14日(土) 10:00～



【お知らせ】

お待たせしました！

田沢湖図書館の本もホームページから「検索」「予約」が可能に！！

12月3日から、田沢湖図書館の本も学習資料館と同じように、ホームページから検索と予約ができるようになります。

●アクセスは…

・【仙北市総合情報センター・学習資料館ホームページ】

<http://www1.city.semboku.akita.jp/>

または、

・仙北市ホームページ トップページのバナー

学習資料館図書検索

●問合せ／田沢湖図書館 ☎ 43-1307

学習資料館 ☎ 43-3333

学習資料館からお知らせ

クリスマス特集

12月といえば一番先に頭に浮かぶのは何と言ってもクリスマスですね。そこで今月はクリスマスにまつわる本を集めます。本の内容にクリスマスが関係しているものを色々集めてみました。小説、物語、絵本、エッセイ、料理本、イルミネーション入門、装飾、リース…。クリスマス関連の本がいっぱい。本からヒントを得て、家族と、友達と、恋人と楽しくすごすクリスマスをお過ごしください。



新潮社から寄贈された図書を紹介します

「ぼくのともだち ～Maru in Michigan」ジョンソン祥子／「アタマとカラダが冴える！東大おやつ教室」東大料理愛好会／「醬からて手作り！「白金劉安」の美肌料理」那須正則／「イン・ザ・ヘブン」新井素子／「私の暮らし方」大貫妙子／「冬虫夏草」梨木香歩／「ほろびぬ姫」井上荒野／「こころとの戦い方」ヒクソン・グレイシー／「ひとりの体で 上・下」ジョン・アーヴィング 小竹由美子(訳)／「ゴジラで負けてスパイダーマンで勝つわがソニー・ピクチャーズ再生紀」野副正行／「ミッキーはばぜ口笛を吹くのかーアニメーションの表現史」細馬宏通／「山本周五郎長篇小説全集第六巻 栄花物語」山本周五郎／「ガンコロリン」海堂尊／「村上海賊の娘 上・下」和田竜／「雪まろげー古手屋喜十 為事覚えー」宇江佐真理／「獅子の城塞」佐々木譲／「悪魔の飼ひ方」真坂たま／「日本防衛秘録」守屋武昌／「使える！人脈力ー「友だち5000人芸人」が実践する50の習慣ー」入江慎也 カラテカ／「ダイオウイカ、奇跡の遭遇」窪寺恒己／「ハリウッド検視ファイルートーマス野口の遺言ー」山田敏弘／「流星ひとつ」沢木耕太郎

【新潮選書】「カネ遣いという教養」藤原敬之／「日本人には二種類いるー1960年の断層ー」岩村暢子／「歴史をつかむ技法」山本博文／「「いいね！」が社会を破壊する」楡周平

●新潮社文庫新刊も多数寄贈されています。

このほか、たくさんの新着図書が入ってきています。

まちづくり日記

No.63

『最近のどきどき・賑わいと』

仙北市長
門脇 光浩

先月は出張が多くて、皆様にはご迷惑をおかけしました。でも新しい発見も随分あったので、その幾つかを紹介いたします。
11月8日の「仙台秋田県人会」では、奥山恵美子仙台市長(秋田市出身)と久しぶりに雑談できました。「順番が来て、今年はウチが町内会の班長なのよ。だから市からの広報物もたまには私が配布して歩くの」…。さすが市民派市長です。続けて「あなたは本当に元氣ね。たぶん、お褒めの言葉です。」
11月15日は、大仙市で大曲仙北広域市町村圏組合正副管理者会議でした。大仙市の栗林次美市長も美郷町の松田知己町長も、「角館高校野球部の甲子園が決まったら、募金活動をしようと思ってるから頑張る」と激励を受けました。「この学校が行っても、大仙・美郷・仙北エリアの子どもなんだから」…。泣けてきました。
11月17日は静岡県掛川市で「茶文化プロジェクト戦略会議」でした。掛川市の緑茶、岩手県奥州市の南部鉄器、岐阜県多治見市の美濃焼、そして仙北市の榊細工は、優れた技術で緑茶文化を支え続けています。この4市が今年から強く連携し、日本の緑茶文化を世界に広めようと

行動に出たわけですね。国では日本食をユネスコ無形文化遺産(世界文化遺産)に申請中です。日本食と切り離すことができない緑茶文化ですから、「世界文化遺産へ登録になったら、世界中に茶器を売りまくろう」と、鼻息を荒くしています。
11月19日は、秋田県庁で「国道46号・105号事業要望会」でした。2つの国道の期成同盟会会長として、「何とか早急に角館バイパスから盛岡間の整備を促進をお願いします。現在の仙岩トンネルは古いので、第2仙岩トンネル(仮称)を標高の低いところに掘りましょう。また国道105号は、高規格化と並行して局部改良に予算を配分してください。大覚野峠は最大の難所です。トンネル化も考える必要があります」と訴えました。県の反応は上々です。
11月21日は国土交通省で「東北ダム事業促進連絡協議会」でした。同協議会に参加のため上京していた由利本荘市の長谷部誠市長は、直前に発生した土砂崩落事故の連絡を受け大急ぎで地元に戻りました。大変さが痛いほど分かります。何が起るか分からない、だからこそ今を精一杯生きようと思えます。